

VI 教育施設

1 フェライト子ども科学館

1 運営方針

フェライトを工業化した齋藤憲三氏の先見性と科学に対する情熱やチャレンジ精神を未来に受け継ぎ、次代を担う子どもたちの科学する心を培うとともに、科学に親しみ学習する場を提供することにより創造性豊かな青少年を育成する。

2 重点目標

- (1) フェライトと磁石を中心とした科学に親しむ機会の提供
- (2) 地域の偉人・齋藤憲三及び山崎貞一に関する情報の提供
- (3) 教育機関及び関連施設との連携による幅広い事業の展開
- (4) 適切な施設管理による来館者の安全確保及び満足度向上



展示室

3 事業計画

期 日	事 業 名	事 業 内 容
7月下旬～8月下旬	夏休み特別企画展	内容未定
7月下旬～8月上旬	科学振興委員会「科学ウォッチング」	内容未定
8月上旬	WRO（ロボットコンテスト） 秋田県中央地区予選会	講習会と小・中・高校生部門予選大会
8月中旬	米村でんじろう実験教室	サイエンスプロデューサー米村氏による 実験教室
10月	発明工夫展・未来の科学の夢絵画展	夏休みの課題入賞作品の展示
12月中旬～1月中旬	冬休み特別企画展	内容未定
12月～2月	移動科学実験教室	3年生「磁石の学習」 5年生「モールス通信機と電磁石」
3月中旬～4月上旬	春休み特別企画展	科学に関するパネル展示
12月中旬、3月中旬	米村サイエンスプロダクション 実験教室	プロダクションスタッフによる 科学実験教室
随時	サイエンス・カフェ	一般(高校生以上)対象の科学コミュニティ
随時(土日祝日)	各種実験工作教室	県立大学教員、科学館スタッフによる 工作教室
毎週日曜日、祝日	フェライト磁石づくり体験	入館者対象の教室

2 白瀬南極探検隊記念館

1 運営方針

- (1) 博物館機能を高め、白瀬南極探検隊の顕彰、資料収集と調査研究を行い、白瀬南極探検隊の偉業を公開し、永く後世に伝承する。
- (2) 教育施設機能を高め、地域の学校教育、社会教育と連携しながら、白瀬南極探検隊の探検精神を地域の教育に活用し、次世代への継承を図る。
- (3) 観光施設機能を高め、県内外からの観光客を誘致し、市の観光の活性化に寄与するとともに、白瀬南極探検隊の偉業を内外へ発信する。
- (4) 適切な施設管理と感染症対策を行い、入館者の安心・安全を確保する。

2 重点目標

- (1) 「顕彰」 白瀬轟及び白瀬南極探検隊の功績を語り継ぐ事業の実施。
- (2) 「研究」 白瀬轟及び白瀬南極探検隊関連の資料の収集と調査の継続。
- (3) 「管理・運営」 誰もが利用しやすい施設を目指した適切な管理・運営。
- (4) 「体験」 南極について学ぶための資料と実物に触れる体験機会の提供。
- (5) 「教育」 学校及び地域社会と協力した学習機会の提供。
- (6) 「連携」 多様な組織及び個人との連携による魅力的な事業の展開。
- (7) 「情報」 知名度の向上、興味喚起と来館意欲促進のための情報発信。

3 事業計画

期 日	事業名・事業内容	備考（会場等）
7月29日（土）	南極・昭和基地ツアー	白瀬記念館
7月中旬～ 11月初旬	企画展「超神ネイガーとスノーファイター NOBU～エピソード0（ゼロ）～」	白瀬記念館
令和6年 1月28日（日）	第57回白瀬中尉をしのぶ集い 雪中行進・講演会	金浦地域
通年	白瀬・南極出前授業	市内小中学校
通年	オーロラドーム映像リニューアル事業	白瀬記念館